

令和5年度「長崎地区ふるさと愛護推進協議会」総会開催

11月30日(木)に「長崎地区ふるさと愛護推進協議会」総会が開催され、現在登録されている214団体のうち、31団体にご参加いただきました。



【建設部長挨拶】



【高松会長挨拶】

コロナ禍での3年ぶりの総会の開催となり、地域社会の高齢化が急速に進んでいること、市民活動団体の参加者が減少していることへの課題をあげられました。

【協議・報告事項】

平成30年度の総会において富工様が副会長に選任され、努めていただいています。協議会規約第5条3項により、高松会長から引き続き富工副会長への指名がありましたので、再任の協議をしたところ、会員の皆様からも盛大な拍手で承認いただきました。



【表彰団体事例発表】

株式会社協環 南部下水処理場



【意見交換】

意見交換では、愛護団体の構成員の高齢化の問題が一番に挙げられ、若い世代を巻き込みながら活動を行っている団体の話を聞き、意見を出し合いました。また、長崎市の地域コミュニティ事業・セブンイレブン記念財団・公益社団法人食品容器環境美化協会等の助成金を利用している団体の話も聞き、活動資金調達の問題にも触れました。その他、意見発表等充実した意見交換がなされました。